



# ティーンズクリエイション展 2014

in よこはまさかえ

## 【主旨】

発端はポーランドポスター展(2012)でした。1950年代に隆盛を極めたポスターは見学した中学生の心を揺さぶりました。直後に彼らに行ったプロデザイナーのポスター制作講座はホンモノ体験の機会になりました。中学生世代に、ホンモノと接して夢や希望を実感する機会を作り、未来を創り出す大切な存在として成長してもらいたいと、神奈川県内のデザイン団体と地域活動団体が、半年間の準備を重ねました。

## 【主催者メッセージ】

中学生の頃は、夢や希望を持っていても、なかなか実感することがむずかしいものです。試して、形にして、また作りなおす。それをくり返すデザインが必要です。まずはラフスケッチから始めましょう。プロクリエイターの方々をはじめ、おとなたちとともにデザインしてみませんか。(さかえdeつながるアート代表:岩上百合子)

## 【事前イベントの紹介】

### ●中学校の美術科授業

栄区小山台中学校の2年生、全3クラスの総勢91人が、美術科の授業のなかで、プロのグラフィックデザイナーの助言を得て、ポスター制作に取り組みました。「伝える」ことの気遣いと技を磨きました。5月13日から6月27日まで全7回、小山台中学校美術室にて。制作した作品は会場にて展示します。

講師:伊藤文人、担当:小山台中学校美術科教諭 山本芳子

- 伊藤文人(グラフィックデザイナー)
 

ポスターはラフレターだ。この基本概念を軸に授業を進めました。公共向けのポスター作りは一年生の終わりからすでに進んでおり、途中からの参加であったため、100%生徒たちに真意が伝わったとは思いませんが、今までは別の角度からのモノの見方、考え方があるんだと感じてもらえたなら、授業は成功だったと思います。
- 山本芳子(小山台中学校美術科教諭)
 

生徒はみな良いものを持っているが、自分の持つ「美術的な良さ(秘めた才能の蕾)」のあることにまだ気付いていない。卒業までの3年の間に制作を通してその蕾をほころばせ開花させていけたら、と思っている。プロのデザイナーを招いての授業は、中一で初めてデザインを学んだ生徒達にとって、また私にとっても新鮮で学ぶことが多かった。

### ●デザイン作品募集

「心にひびくデザイン」をテーマに、広く中学生からデザイン作品を募集しました。応募されたひとつひとつの作品にプロクリエイターのコメントを添えて、会場にて作品を展示します。

### ●デザイン制作講座

「心にひびくデザイン」をテーマに、7月13日(土)の午後、あーすぶらざの研修室において、中学生を対象に、プロクリエイター講師によるデザイン制作講座を行いました。講師のコメントを添えて、会場にて作品を展示します。講師:佐藤良仁+本田淳

- 佐藤良仁(クリエイティブデザイナー)
 

公益社団法人 日本グラフィックデザイナー協会会員・公益社団法人かながわデザイン機構会員。イギリスの広告会社グループの制作会社の代表取締役を経て現在、広告・映像・ゲーム・WEB等の会社11社を兼任で顧問。公益社団法人 日本広告制作協会理事や、クリエイティブ系大学・専門学校4校の非常勤講師もしている。
- 本田淳(イラストレーター)
 

兵庫県神戸市出身。東京造形大学・油絵科卒業。株式会社日本デザインセンター・イラスト部、株式会社アイド・イラスト部を経てフリーランスのイラストレーターに。水墨画で日本南画院展入賞多数、日本南画院会員を経て、水墨画、絵画の講師もしている。

## ティーンズクリエイション・カフェ(TCC) 開催

当日自由参加 無料

「きづきから創造へ」 8月9日(土) 16:30~18:00

プロクリエイターと、専門学校でデザインを学ぶ若者たち、事前企画に参加した中学生たちを交え、デザインを巡ってさまざまなことを語り合います。デザイナー、クリエイターってどんな仕事?どうしてそれを仕事にしたいと思ったの?どんな勉強をすればいいの?など、いろいろな「?」に答えませす! ●出演: JAGDA神奈川会員・デザイン専門学校生・栄区内の中学生 ●コーディネーター:岩堀まゆみ・Mazken

■岩堀まゆみ(フレンズ☆SAKAE)
 栄区の子育て支援に携わって15年、当時の乳幼児はみんな青少年になりました。誰もが通る思春期世代を応援し、心身ともに生きる力を持った人となれるよう見守っていかたいと思っています。誰にでも輝ける瞬間はあります。自分の良いところ、好きなところをみつつけよう自分の人生の主役はあなたです☆

## ワークショップ参加受付

先着順各15名(事前電話申込)
 参加費:中学生300円、高校生・大学生500円、おとな1,000円

プロクリエイターの手になる多彩な4つのワークショップが並びます。

■お問合せ・お申込み:「ティーンズクリエイション・2014」組織委員会事務局

TEL:080-4150-2700

(さかえdeつながるアート・岩上)

01

## そうとめ よしえ・高田和明・斎藤 学の「デザイン(de+sign)を考えよう!!!」

8月9日(土) 午前の部 10:30~

デザイン=de+signとは「目的を持って何かを伝えるために表現すること」って、どういうことだろう?このワークショップでは、まず、デザインされるモノやコトは何?良いデザインって何?など、「デザインって何?」を、身の回りのモノやコトから考えます。さらに、「デザインする」とは、どんなことをすれば良いのかをみんなで話し合い、最後にデザインにチャレンジします。

■講師:そうとめよしえ(ワークショップデザイナー)・高田和明・斎藤 学

要申込

02

## 上平崇仁の「いつもの『ことば』をかくしてみると」

8月9日(土) 午後の部 13:30~

私たちは普段、日本語でお互いの言いたいことを伝え合っていますが、たとえば天気予報や信号機は、ことばが無くて一発で意味が伝わります。図形や記号、色を上手につかえば外国からやってきた人達もわかるようになっていきます。ここでは、いつものことばの代わりに、意味を伝えるマークをパソコンで実際につくって貼ってみることで、いろんな国の人たちに対してメッセージを届けることの役割を考えてみたいとおもいます。

■講師:上平崇仁(専修大学ネットワーク情報学部教授)

要申込

03

## しんじえりこの「飛び出すカード」

8月10日(日) 午前の部 10:30~

ハツと開けば立体が飛び出し、折りたためば平面にもなる。飛び出すカードを作ってみよう。私たちにとって身近な素材である紙で、どれだけ楽しいことができるか考えましょう。飛び出すカードは、グリーティングカードとしても使うことができるものです。作り方をおぼえるだけではなく、「そのカードは誰のための、どんな時に使うカードなのか?と、出来上がったあとのことまで考えて、デザインをしてみましょう。

■講師:しんじえりこ(イラストレーター)

要申込

04

## 黒須治の「相手を動かす広告コピー、どう作る?」

8月10日(日) 午後の部 13:30~

私たちが仲間と話すことばや日記に記すことばと、広告コピーとの違いは、見知らぬ「相手」の有無です。広告コピーの目的はその「相手」を動かすこと。ターゲットの目を引き、関心呼び、欲しいと思わせ、買うにいたる導線を作らなければなりません。そのために、数々の工夫やアイデア、知恵が生まれます。このワークショップでは「相手」のここをキャッチするコピー、いわゆるキャッチコピーの作り方のコツについて実践的に学びます。

■講師:黒須治(コピーライター)

要申込

## 神奈川のクリエイター×栄区の中学生

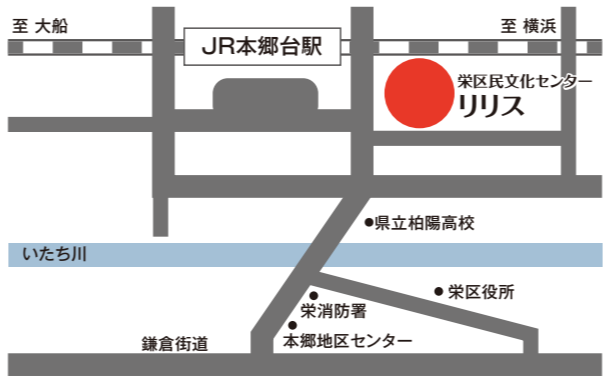
同時開催 (一般公開)

2014年8月6日(水)~10日(日) 10:00~20:00



- 作品展示: 8月6日(水)~8月10日(日) 10:00~20:00
- ワークショップ: 8月9日(土)・10日(日) ①10:30~、②13:30~
- ティーンズクリエイション・カフェ: 8月9日(土) 16:30~18:00
- さかえdeつながるアートdeカフェ: 8月10日(日) 16:30~18:00

会場:栄区民文化センター リリス (ギャラリー、会議室)



- 主催:さかえdeつながるアート、「ティーンズクリエイション・2014 inよこはまさかえ」組織委員会(さかえdeつながるアート、JAGDA神奈川、かながわデザイン機構(KDF)、日本広告制作協会・教育支援部会(OAC))
- 共催:日本グラフィックデザイナー協会神奈川(JAGDA神奈川)
- 助成:横浜市地域文化サポート事業「ヨコハマアートサイト2014」
- ヨコハマトリエンナーレ2014応援プログラム
- 後援:横浜市栄区
- 協力:栄区中学校長会、栄区民文化センター リリス、神奈川県立地球市民かながわプラザ(あーすぶらざ)、フレンズ☆SAKAE、さかえ地域通貨プロジェクト・イタッチ、専修大学上平研究室
- 企画:岩上百合子・大塚宏(さかえdeつながるアート)、MazKen・伊藤文人・満島弘(JAGDA神奈川)、柏原政彦・佐藤俊夫・宇佐見悟(KDF)、佐藤良仁(日本広告制作協会・教育支援部会(OAC)、JAGDA神奈川、KDF)、佐藤貴・山本芳子(小山台中学校)、村本淳一・鈴木恵子(桂台中学校)、岩堀まゆみ(フレンズ☆SAKAE)・小澤美紀

■さかえdeつながるアート:2008年、ヨコハマアートサイトの主旨に賛同し、横浜市栄区に生まれたコミュニティアートの活動団体。就学前のこどもと親を対象とした造形ワークショップや、草木染め技法や五感を活かしたワークショップ技法の研究、アートを巡る対話の場の運営など、地域とアートをつなげる活動を行っています。

■JAGDA神奈川(公益法人 日本グラフィックデザイナー協会):1978年、戦後日本のグラフィックデザインの礎を築いた故・亀倉雄策を中心に国内著名グラフィックデザイナーによって設立。現在、会員数約3000名が所属する日本で唯一の全国組織です。JAGDAの活動は、展覧会やシンポジウムの開催、デザイン教育、公共デザインや環境デザイン、地域振興、国際交流など、多岐にわたります。JAGDA神奈川はその神奈川地区団体です。

■かながわデザイン機構(KDF):かながわデザイン機構は、デザインを主軸として神奈川県産の産業振興と県民生活の文化向上を目指す公益社団法人です。中小企業を中心としたものづくり、教育、地域などに対するデザイン支援や展示会の開催他、ユニバーサルデザイン、エコデザインによるデザイナー視点での社会的事業への参画等、戦略的なデザイン活動を行っています。

■公益社団法人日本広告制作協会(OAC)教育支援部会:広告制作会社で構成されるわが国唯一の公益社団法人。1974年に設立。コミュニケーションとクリエイティブのプロフェッショナルとして、また公益法人としてOAC「教育支援部会」は、未来のクリエイターが育つ環境を支援することを目指し、広告業界の発展に寄与することを理念としています。

■フレンズ☆SAKAE:栄区青少年の地域活動拠点。中・高校生世代を中心に小学校高学年から20歳頃の青少年が利用できます。勉強したり、おしゃべりしたり、本を読んだり、ダンスや陶芸、手芸、書道など地域の大人と楽しむプログラムもあります。栄区民祭りやSAKAEヤングフェスティバル等の地域行事に参加、地域と青少年をつなげていきます。



JAGDA KANAGAWA

# TRIENNALE 2014

JAGDA 神奈川トリエンナーレ 2014

## 【テーマ —きづき—】

JAGDA神奈川は、JAGDA(公益社団法人日本グラフィックデザイナー協会)\*の神奈川地区団体です。この度、横浜市栄区の中学生以上を主たる対象にし、単なる作品展示会では無く、学生とプロクリエイターの「体験的交流」を目的とした文化イベントを企画しました。現代におけるプロクリエイターの多様性(商業デザインとアートの両面)と、多分野にわたる多彩なプロの技を作品展示・表現・共同作業(ワークショップ)によって啓蒙します。私達の仕事は、ありふれた生活環境の何かに「きづき」「きずく」ことが大切です。特別な場所で何かをするのとは違う、「プロ創造者」の好感度なアンテナを、学生や来場者の皆さまにも気付いていただければ幸いです。

## 【主催者メッセージ】

私がクリエイターの仕事を狙ったのは中学の時です。学校も美術の授業も嫌いな少年でした。子供と大人の間で不安定な世代にこそ、大人が真摯に将来について相談に乗り指導すべきですが、創造産業はまだまだ大人自体に認知度が足りないと言えます。今回のイベントが、創造産業を志す学生にとっての道標になればと思います。(JAGDA神奈川トリエンナーレ2014実行委員長:MazKen)

JAGDA(公益社団法人日本グラフィックデザイナー協会)
 1978年、戦後日本のグラフィックデザインの礎を築き、東京オリンピックポスターをはじめ数々の名作を残した故・亀倉雄策を中心に世界的なグラフィックデザイナーによって設立された。現在、約3,000名の会員を擁する日本で唯一のグラフィックデザイナーの全国組織。その活動は、年鑑の発行、展覧会やシンポジウムの開催、デザイン教育、公共デザインや環境デザイン、地域振興への取り組み、国際交流など多岐にわたります。これらの活動を通じ、JAGDAは日本の創造産業の発展と、コミュニケーション環境の向上に寄与しています。

## 【出展者】

浅葉克己 アートディレクター
 JAGDA会長

- 作品名:カテゴリー:未定

伊藤文人 イラストレーター

- 作品名:さかさ絵・風神雷神?
- カテゴリー:イラストレーション

うし グラフィックデザイナー・芸術家

- 作品名:扉
- カテゴリー:立体造形

栗林孝之 グラフィックデザイナー

- 作品名:「枯葉やゴミ」から「寒しめるデザイン」へ。
- カテゴリー:ポスター・カレンダー、Tシャツ他

しんじえりこ イラストレーター

- 作品名:だるまと元だるま・きゆうずさん
- カテゴリー:立体造形

堤岳彦 グラフィックデザイナー・芸術家

- 作品名:タコノイカ
- カテゴリー:絵画

藤元秀征 グラフィックデザイナー

- 作品名:The KIZUKI improvisation
- カテゴリー:ポスター

MazKen フォトグラフィ

- 作品名:HALF SPEED 2014
- カテゴリー:フォトグラフ

渡辺邦夫 横浜国立大学 教授

- 作品名:横浜市営バス「海バス」、地球環境ポスター他
- カテゴリー:グラフィックデザイン

渡邊さかえ グラフィックデザイナー

- 作品名:re・cycle01
- カテゴリー:アート作品

## 「海バス」がやって来る! 「環境デザインバスのできるまで」 8月10日(日) 14:00~15:00

環境デザインバス車内にて 学生を対象としたトークショーを開催

講演・デザイン:渡辺邦夫(横浜国立大学教授・JAGDA神奈川会員)

参加無料・先着25名



## さかえdeつながるアートdeカフェ 開催

当日自由参加・無料

8月10日(日) 16:30~18:00

さかえdeつながるアートはこれまで「コーヒーをかたわらにアートを手がかりに」をモットーに、気軽に深くさまざまなことを語り合い、つなげてきました。さらにこれからのつながりを巡り、交流を深めます。

- ゲスト:北川純(美術家) ●コーディネーター:大塚宏(さかえdeつながるアート)

■北川純(美術家)
 プリントTシャツ制作や現代アートなど多方面で活動。「さかえdeつながるアート」の事業には2008年の発足時からアーティストとして参加し、「竹のキャンドル」「ハートの風穴」「風船Tシャツ」「シャッターアート」「ハートTシャツ」「ジッパー」等をさかえの人々とともに制作する。